

施設設備による防災効果

これまで整備を進めてきた施設は、それぞれの地域で、大雨時に起こる災害から住民を守ったり、被害を抑えたりするなど、効果を発揮しています。

男女岳ダム(壱岐市芦辺町)

昨年、2度にわたる記録的な大雨が観測された壱岐市では、谷江川の支流に位置する勝本ダムと男女岳ダムが雨水を貯め込み、谷江川の洪水被害を軽減しました。

この働きは、周辺住民の避難に要する時間を確保することにもつながり、治水ダムとしての機能を果たしました。



男女岳ダム

鮎川砂防ダム(島原市大下町)

平成28年6月20日、梅雨前線に伴う大雨により島原市の眉山の山腹が崩壊し、土石流が発生しました。

一部流出した土砂により下流の農業施設が被害を受けたものの、砂防ダムが土砂を止めたため、住宅地は土石流の被害を免れました。



鮎川砂防ダム

防災・減災を進めるために

県では、施設整備により災害への安全性を高めるとともに、危険箇所や避難場所の情報周知や避難訓練の実施による啓発活動など、さまざまな取組を進めています。

石木ダムの整備(川棚町)

川棚町中心市街地の洪水対策と佐世保市の水源確保を主な目的として、川棚川の支流の石木川に建設を進めています。

戦後、何度も水害に見舞われてきた川棚川において、概ね100年に一度の大雨*に備えるために必要不可欠なダムです。

周辺地域にお住まいの皆さんの安全を早期に確保するため、付替県道工事など、事業の推進に努めています。

*川棚川の場合、3時間あたり203ミリ、24時間あたり400ミリ



石木ダムの完成イメージ

ソフト対策

土石災害警戒区域や危険箇所が地図上で確認できるホームページ「長崎県総合防災GIS」を公開しています。また、被害の範囲や避難場所などを示した地図「ハザードマップ」を、お住まいの市町のホームページや窓口で見ることができます。

災害に備えて、危険箇所や避難場所を確認するとともに、地域の避難訓練に参加するなどして、防災意識を高めましょう。

長崎県総合防災GIS 検索



避難訓練の様子(対馬市)

問合せ 県の河川課 ☎095-823-3280

長崎県河川課 検索

県の砂防課 ☎095-820-4788

長崎県砂防課 検索

災害を防ぎ、災害に備える

大雨や台風、地震などによる自然災害は、いつどこで起こるかわかりません。こうした災害への対策と、災害発生に備えて県が進めている取組を紹介します。



写真提供:国土交通省九州地方整備局

最大で毎秒60トンの流入に対し、ダムで毎秒45トン貯め込み洪水調節を行った勝本ダム(壱岐市勝本町 H29.6.30)

昨年の壱岐市での大雨

九州北部豪雨が発生した際、壱岐市芦辺町では2度にわたり『50年に一度の大雨』が観測されました。

人的被害はなかったものの、河川・道路施設に17億円を超える被害をもたらしたこの災害は、今年3月、国から『局地激甚災害*』に指定されました。

*災害の被害額が基準を超えた自治体を国が財政支援する制度。指定されると、自治体が行う復旧事業の国の補助率が引き上げられる。

■平成29年6月29日~30日

- 芦辺町で観測史上最大の雨量を観測【237.5ミリ/3時間、432.5ミリ/24時間】

■平成29年7月6日~7日

- 芦辺町で7月の月降水量平年値を超える日降水量を観測【362.5ミリ/日】

■被害額

- 河川:約2.8億円
- 道路・橋梁:約14.4億円

昨年7月の九州北部豪雨など、近年、大雨による大規模災害が全国各地で発生しています。本県は、海と山が近いという地形的な特徴から、これまで何度も大雨による災害に見舞われてきました。県では、河川の氾濫や土石流を防ぐための施設整備などのハード対策と危険箇所の周知などのソフト対策を組み合わせ、防災・減災対策を進めています。

安全・安心な暮らしをつくる